

令和8年1月定例教育委員会会議録

1 日 時 令和8年1月29日(木) 午後3時～午後5時10分

2 場 所 氷見市役所 教育委員会室

3 出席者 有島洋之教育長、湖東政俊職務代理者、圓山留美委員、佐原孝信委員、菊池響委員

4 職務のため出席した事務局員

萩原教育次長、西参事、尾山学校教育課長、小谷文化振興課長(兼博物館長、図書館長)、長谷川スポーツ振興課長、森谷教育総合センター所長、坂下学校給食センター所長、藪下学校教育課長補佐、田邊スポーツ振興課長補佐

5 協議事項

【報告案件】

- (1) 報告第1号 令和6年度事業の点検・評価について(学校教育課)
- (2) 報告第2号 令和7年度教育論文・教育実践記録審査について(教育総合センター)
- (3) 報告第3号 一般財団法人氷見市文化振興財団の公益財団法人への移行について
(文化振興課)
- (4) 報告第4号 氷見市少年補導センターの廃止について(文化振興課)
- (5) 報告第5号 特別展「冬木清展Ⅱ」の開催について(博物館)

6 会議内容

- (1) 教育長の挨拶
- (2) 教育長の報告

令和7年12月19日(金)から令和8年1月29日(木)までの教育委員会所管事項を、有島教育長が報告した。

(3) 協議内容

報告第1号は尾山学校教育課長が、報告第2号は森谷教育総合センター長が、報告第3号、報告第4号は小谷文化振興課長が、報告第5号は小谷博物館長が説明・報告した。

(4) 2月の行事予定を各所属長等が説明した。

[質疑応答]

・二十歳のつどいについて

委 員 : 二十歳のつどいでQRコードを使用されたとのことだが、結果はどうであったか。

事 務 局 : 非常にスムーズであった。中にはラインを使いたくない方もいたので、それに対応する受付を別に設けた。大半は何の問題もなくQRコードをダウンロードし、表示されたも

ので受付けることができた。そのお陰で集計に電卓を叩く必要がないというメリットもあった。今後もこの方法を続けていきたいと思っている。

事務局 今年も雪の中でも開催できたが、そうでない場合も考えられる。

事務局 万が一、中止となった場合には、ラインにより事前登録された方には連絡ができるという大きなメリットがある。

・ひみ教育フォーラム 2025 について

委員 ひみ教育フォーラムを行っているが、参加者はどれくらいか。

事務局 参加者は60名程度であった。

事務局 今年度から事務局が教育委員会に変更になった。来年度からは広報を工夫して実施したい。

・令和6年度事業の点検・評価について

委員 社会教育ネットワーク会議の開催が毎年0回となっているが、これからどのようにしていくのか。

事務局 会議という形での開催はないが、実際には社会教育の関係者とは何度も会っている。NPOの方などとは連携できていないが、社会教育委員の方や社会教育団体の方々、公民館の方とは日常的に連携を取っている。

委員 特別支援に関して、特性を持つ方が自分の特性を知るということは大切なことであると思う。そのため、WISC 検査は有効な手立てであると考えている。氷見市の現状では、特別支援教育士の資格を持つ教員がいなくて研修への派遣が難しい。専門員の先生方もどんどん年を取るのだから、次の方が必要な時に資格がないと受講できないとのことであるが、特別支援教育士の資格を取るにはどのようなことが必要なのか。

事務局 詳細については分からないところもあるが、実際に WISC 検査ができる教員は何人かいる。ただし、現場ではいろいろな仕事を抱えているという現状があるため、検査をすることはほぼ無い。現在は臨床心理士等で対応をしている。講習受講については特別支援専門員がいるので、働きかけていきたい。

委員 オニバスが発生しない原因についての調査があるが、どんな原因があったのか。

事務局 神戸大、岡山大、岡山理科大の先生方の知見を持ち寄っていただいて、なぜ咲かないのか、なぜ発芽しないのか、土壌の問題なのか、水質の問題のかなどの検討をしている。芽が出てもザリガニにやられるということは昔から言われているがザリガニをどうしたら駆除できるのか。また、最近の問題では、クサガメやアカミミガメ等が沢山いて、それらがオニバスを食べてしまうということもあるということである。その駆除をどうするかなど多方面の専門の先生のご意見を仰ぎながら進めている。昨日も専門の先生方の会合があり、本当にどうすればいいかという方向性がまだ見えていない。引き続き調査を行っていく。

- 委員 いろいろな原因が沢山出てきて難しいということか。
- 事務局 簡単ではない。ひとつずつ潰しているという感じである。大学の先生方は科学者なので、どうしたらできるか、どれが原因なのかを確認しながら進めている。
- 委員 昔のように大きなオニバスの葉が出ていて、十二町湯はすごいとなればよいと思っている。原因を解明して手当てができればよい。
- 事務局 かつては邪魔なくらい大きな葉が出てきていたが、なぜ出てこなくなったのかまだ突き止められていない状況である。解明できるよう進めていく。
- 委員 氷見をPRする素晴らしい資源である。ぜひ解明していただきたい。
- 委員 小学校5年生と中学校2年生の女子の「運動が好き」の回答が90%に達していないが、原因は解っているのか。全国体力・運動能力・運動習慣等調査は県平均よりプラスとなっているが、なぜ運動が好きではないのか。理由が分かれば違ってくるのではないか。
- 事務局 解明はできていない。今後の課題として考えていきたい。
- 委員 子供たちにアンケートを取るなどはしていないのか。具体的には分からないということか。
- 事務局 心配していることのひとつとして、小学校の女子児童のスポーツ少年団の加入が少ないことがある。それが影響しているのかとも思う。男子よりも女子の方がスポーツ少年団の加入率は低い。
- 事務局 11月に比美乃江小学校でPTA親子活動があった。女子児童の保護者が、娘が運動をしないのでスポーツに興味を持ってほしいということで、ハンギョボールの体験に応募し楽しんでやっておられた。そういったところから少しずつ取り組んでいきたい。
- 委員 参加して楽しかったと思えばスポーツ好きになることもある。そんな機会があればありがたい。
- 委員 ICT教育についてだが、タブレットPCを活用するなかで、端末の使い方が上手くなってくると、ネット等を見る機会も増えてくる。児童生徒の情報活用能力に差がみられるため、体系表等を作成して取り組んでおられるとのことである。上手に情報を活用するという面に対し対策をしておられると思うが、安全に使用するという点で、子供たちに対してネットリテラシー等の指導など、既に環境として整えられているのか。
- 事務局 ここに記載されているものは、氷見市で貸し出しているタブレットについてであるが、学校でWi-Fi等につなぐセキュリティは整えられている。保護者が買い与えて家で使っているスマートフォンなど、いわゆるSNSを介したトラブルは全国並みに起こっている。各学校では、ネットルールづくりが必要である。これまではネットルールや学校のルールは教師が作って与えるものであったが、最近は子供たちがルールづくりに参加する。中学校の生徒会や場合によっては親も参加する。小学校では学校のルールと家庭のルールを考えようというネットのトラブルに巻き込まれないための取組を各学校

で行っている。センターの事業としてもネットフォローアップ事業で毎年校区を絞ってソーシャルメディア研究会から講師を招聘し、講演会をしている。今年は宮田小学校、窪小学校、西條中学校で行っており、宮田小学校では保護者に参加いただいて、学校だけではSNSのトラブルを解決できないこともあるので子供たちに考えてもらったり、家庭に協力いただいたりなどして取り組んでいる最中である。

委員 「誰もがスポーツを楽しむ環境づくり」について20代から40代の女性を中心にした取組と男性の取組実績があった。参加者はどのような感じであったか。終了後の充実感などあった様子か。

事務局 参加率が良くなかったため、令和6年度でこれらの事業は終了となった。

事務局 女性は参加人数が少なく、毎回同じような方が参加していた。男性は50代の働き盛りが対象であり、肥満対策やアルコールについてなどの講義やサウナなどは好評であった。これからも続けるかとの意見もあったが、同じような事業をふれあいスポーツセンターでも行っていることから、そちらに集約することとなった。そのため、男女とも令和6年度で終了したということである。

委員 一定の効果はあったということで理解した。

事務局 点検・評価については令和8年度までこの形で行う。それ以降は新たに策定する第4期教育振興基本計画の取組となるので、それに従ったものとなる。数値目標など不十分などところが出ているが計画策定に伴って見直すこととなる。

委員 令和8年度に結果を出すのは大変である。

事務局 計画策定と同時進行でやっていかなければならない。

・教育論文・教育実践記録審査について

事務局 審査には校長会から何人入っているか。

事務局 小学校の校長先生2名と中学校の校長先生1名に入っている。センターだけではなく、現役の校長先生方の視点は大変参考になった。

事務局 校長会からの参加は継続の方向か。

事務局 そのように考えている。昨日、センターの運営委員会があったが、小学校長会長、中学校長会長も運営委員としてお願いしている。来年度も継続して参加をお願いしたいと伝えてある。

・特別展「冬木清展Ⅱ」の開催について

事務局 冬木清氏の展覧会について説明してほしい。

事務局 氷見市内では有名な画家である。作品は物凄く綺麗なもので、是非お越しいただければと思う。全国的には有名な方ということではないが、博物館では氷見市ゆかりの方を

……これまでも展覧会で紹介しており、その一連の特別展である。氷見出身の方で画力のある方がいらっしゃることを知っていただくには良い機会なのではないかと思う。

(5) 3月の定例教育委員会議の開催を3月18日(水)午後3時に決定した。

(6) 閉 会 午後5時10分

教育長

教育長職務代理者

教育委員

教育委員

教育委員